

2022年の夏

茗溪塾塾長 長谷誠基

8月に入り、厳しい暑さが続いています。夏期講習も半ばを過ぎ、生徒たちは部活動に勉強にと頑張っている様子が見えます。

受験生は長時間の学習にも慣れ、毎日行われるテストの順位表を見ながら、復習をえています。夏の学習で一番重要なのはやり直しの勉強です。授業でできなかった問題やテストで間違えた問題を解きなおすことで、今までわからなかったものを理解することが実力を伸ばすことにつながります。普段なかなか時間が取れないときは、土日を利用してやり直しをしましょう。

そして受験生はもうすぐ短期集中特訓の時期が近づいてきました。先生たちも時間がない中、会場ごとに打ち合わせや教材準備を進めているところです。

短期集中特訓の目的は「受験生としての勉強法の体得」です。9月以降の学習では過去問や志望校別特訓などいよいよ本番を想定した学習に取り組んでいくことになります。入試問題なので難しいのですが、いずれはそれを解きこなしていかないと合格は見えてきません。短期集中特訓では授業もちろん行いますが、トレーニングの時間をたっぷり取り、ヒントをもらいながらも最後は自分で正解を出させるようにしていきます。この自分で正解を出すということが非常に重要なのです。答えや解説を見てわかったつもりにならないように、担当の先生が丁寧に指導していきます。授業やトレーニングを担当する先生は、9月以降志望校別特訓や合同特訓を担当することになりますので、ここで強い信頼関係を築くことも大切なことです。

この勉強法は9月以降の過去問や模擬試験、志望校別特訓などでも続けていきましょう。先生にヒントをもらいながらも最後は自分で解決する。そして決してわかったつもりにならないこと。1つ1つ理解し出来るようになっていくことが結局は実力を伸ばす近道になります。

また、勉強だけでなく夏休みは自然に触れる経験もしてほしいと思います。新型コロナの感染状況があまり良くないので、お出かけするのはあまりおすすめできませんが、近くの公園などでも経験できることは多いと思います。ヒマワリやセイタカアワダチソウの花を見たり、セミが鳴いているところを見つけたり、夜は星空をしてみるのもいいでしょう。お盆前の8月12日ごろには毎年ペルセウス座流星群が観測できますし、土星も一晩中観測できます。わざわざ遠くまで行かなくてもこの夏出来る貴重な体験ができるチャンスです。